

## 北海道建築士会青年委員会事業報告書

報告件名	第2回 青年委員会
報告者	針ヶ谷拓己
開催日時	平成27年8月8日 14:00～17:30
開催場所	事務局会議室（札幌市中央区大通西5丁目 大五ビル6階）
出席者	針ヶ谷、原、福澤、北野、山田、小林、永井、鈴木 長谷川常務理事、岡本

### 報告内容

#### 《協議事項》

#### 1. 全道大会（紋別大会 テーマ「オホーツクの四季を編む」）について【14:00～16:45】

##### （1）青年サミット

○担当 ◎鈴木、山田、福澤、北野

○日時 平成27年9月18日（金）

○場所 紋別市民会館 3階「小ホール」（紋別市潮見町1丁目4番3号）

懇親会：紋別氷海展望塔オホーツクタワー（紋別市海洋公園1番地）

※懇親会会場については、サミット会場及び主要ホテルからバスにて送迎

○テーマ 「オホーツクの四季から奏でるまちづくり」

○テーマコメント

紋別はオホーツク海に面し、豊かな自然に恵まれており、四季のうつろいが感じられるまちです。夏の涼しさは避暑地となり、屋外のスポーツも快適に行えます。また、冬の雄大な自然がつくりだす流氷は、多くの観光客を魅了しています。しかしながら、紋別市の人口は減少を続けており、中心市街地には空き地、空き家、空き店舗が目立ち、活気が失われつつあります。それに対して、紋別市は中心市街地の活性化のため「紋別市まちづくりビジョン」の策定。そして、今年には「都市計画マスタープラン」が策定され、住民、地域関係者及び行政等が協働し合い、長い歴史や、伝統を活かした将来的なまちづくりの取り組みがされ始めています。我々青年建築士は、現在の紋別を肌で感じ、オホーツクの四季を通して、これから未来へ継いでいく魅力的なまちづくりとは何かを話し合い、考えたいと思います。

○内容 市内をバスで巡り、何箇所かでは降車してまちなみ散策を行い、紋別市を感じとります。会場へもどり、まち巡りの感想等、意見交換を行い、グループごとに春夏秋冬のいずれかを選択し、その季節についての「魅力的なまちづくり」について話し合います。成果品として、テーマ・コンセプト・キャッチフレーズ・まちの特徴を書き出すとともに、市街地図へ具体的に落とし込んだ「魅力アップマップ」を作成します。

13:00～13:30 (30) 受付

13:30～14:10 (40) 挨拶・説明・紋別市紹介、連絡会議WSの経過報告(10)

14:10～15:40 (90) まち巡り（バス移動）、まちあるき

15:40～16:00 (10) 休憩

16:00～17:00 (70) ワークショップ

17:00～17:30 (30) 発表（感想含む）

※詳細は別紙による

※本部青年委員はテーブルマスターを担当する

※まち巡りは2ルート（山コース、街コース）に分かれる

※まちあるきは、以前の宝探しやクイズなど、もうひとアイディア盛り込む

※まちあるき後、再びバスにて会場へ向かう

※冒頭で魅力的なまちづくりについて説明する。またワークショップのことを事前に説明してから、まちあるきを行う

- ※参加者のまちのことを話し、紋別の感想をいただく
- ※春夏秋冬の分け方、盛り上げるよう工夫をする（シール剥がし、春夏秋冬決める）
- ※ワークショップテーブルマスター用の虎の巻を準備する（8/22にリハーサルを行う際にワークショップを行うので、その内容をまとめて各委員へ報告する）
- ※ワークショップ前半で各地域の四季のイベントなどを話す

#### ○配付資料

- ・プログラム
- ・参加者リスト
- ・紋別市紹介資料
- ・まち巡りシート（個人用）
- ・魅力アップマップ提案シート（グループ用）
- ・まち巡り、まちあるきマップ
- ・会場案内、懇親会案内
- ・連絡会議ワークショップの報告資料

#### ○今後のスケジュール

- ・CPD申請（岡本）
- ・報告書作成（鈴木）
- ・A1パネル作成（担当者の中で決める）

### (2) 分科会

- 担当 ◎福澤、永井、大浦、山田
- 日時 平成27年9月19日（土）
- 場所 紋別市文化会館1F「多目的ホール」（紋別市幸町3丁目1番8号）
- テーマ 「まちなかで考える 地域コミュニティと空き家 ～建築士としてできること～」
- テーマコメント

近年、社会問題となっている空き家問題。市民生活の安心・安全の面から不安視されています。ここ紋別市も少子高齢化等により人口減少傾向にあることから、さらに空き家は増加していくものと思われます。C分科会ではこの空き家問題に視点をあて、空き家の現状や課題、そしてその対策や施策を学ぶとともに、地域コミュニティの活性化に繋がる空き家の有効な利活用方法を模索し、建築士として何ができるかを考えていきます。

- 内容 空き家問題をテーマに、現状の問題を学び、解決策を考えるとともに、紋別市街地の商店街にある老朽化した空き店舗を想定して、その地域のコミュニティ活性化を目指し、建築士の立場でリノベーション提案を行う

12:30～12:40 あいさつ、進行説明

12:40～13:00 空き家問題の現状説明

13:00～14:00 ワークショップ

①空き家問題を考える「空き家について考えよう！」

②空き家の利活用提案「空き家をつかって何かをしよう！」

14:00～14:20 発表

14:20～14:30 総評、事務連絡、閉会

※詳細は別紙による

※現状説明は紋別市建設部建築課年計画係長 阿部 隼士 氏

※担当 司会：福澤 ファシリ：大浦 受付及び片付け：永井 会場係：山田

※テーブルマスター 本部青年委員

※岡本さんはC分科会には最初だけの参加

※紋別支部青年委員も式典準備等でC分科会の参加は困難（鈴木委員が確認し何名程度参加できるか後日、報告する）

※CPDは用紙記入方式とする

※講師代は行政の方なので無し

※9月上旬までに参加者への配付資料データを事務局へ送ること。併せて事務局で用意する文具等の数量も連絡すること

※想定する空き店舗は他の地域の建物（既に解体済）をする

#### ○配付資料

- ・空き家問題資料（国交省資料4～5枚程度）
- ・ワークショップ記録シート
- ・写真
- ・地図及び建物写真

#### ○今後のスケジュール

- ・CPD申請（岡本）
- ・本大会での報告（福澤）
- ・事業報告書（福澤）
- ・A1パネル作成（担当者の中で決める）

### 《その他連絡事項》【16：45～17：30】

#### (1) ブロック協議会について（針ヶ谷）

##### ○各ブロック長より活動報告

各ブロック、第2回ブロック協議会の報告を行った。

##### ○各ブロック協議会の日程

道南ブロック 第3回：10月末（日高）

道央ブロック 第3回：11月14日（千歳）

道北ブロック 第3回：11月末（士別）

道東ブロック 第3回：11月14日（北見 お仕事体験）

#### (2) 東西アスファルト事業協同組合の協賛について

##### ○青年建築士の集い

##### ○建築のお仕事体験 in 新さっぽろ

##### ○建築のお仕事体験 in 函館

##### ○建築のお仕事体験 in 名寄 in 稚内

##### ○建築のお仕事体験 in 北見

##### ※収支報告や支払について

※協賛からは外れるが、旭川支部でも建築のお仕事体験を実施する（9/12、13）

#### (3) 建築士新規登録者のための事業について（会員増強特別委員会）

青年委員会として、「“新規建築士”を建築士会が応援します！！ 企画」を女性委員会へ確認いただいた後、会員増強特別委員会へ正式に提案した。内容としては下記の通り。

ステップ1：ホンモノを見よう！ 「製図試験課題の建築現場見学会」

ステップ2：建築士のそこが知りたい！ 「建築士合格者セミナー」

ステップ3：みんなよりも早くもらえる！ 「建築士免許証授与式」

ステップ4：みんなで交流！ 「合格者祝賀会」

ステップ5：建築士会初年度会費サービス！ 「参加者特典」

※詳細は別紙による

※東西アスファルト事業協同組合協賛

(4) 全国大会（石川大会）について（針ヶ谷）

①建築士フォーラム

地域実践活動の発表。発表者は青年建築士の集いを開催した後志支部&道央ブロック

※詳細別紙による

②セッション（まちづくり・女性・青年 3委員会合同）

未来のまちづくりについて（連合青年としてのテーマは「空き家対策」と「まちおこし」）

※詳細別紙による

※アンケートについて

「空き家」や「まちおこし」に対するアンケートが行われる。北海道内の各支部青年委員会が主催又は企画する活動があるか、各ブロック長より各支部青年委員長へ確認いただき、そのような活動をされているのであれば、連絡いただきたい。アンケートは針ヶ谷にて記入。

(5) 全国青年委員長会議の目標達成アンケートについて

北海道が立てた目標は、建築のお仕事体験を札幌以外の都市でも行うこととしている。来年の全国大会大分大会までに目標達成することとしているが、今年、思わぬ協賛があることから、年内に目標を達成することができそうである。そのような内容でアンケートを針ヶ谷にて記入する。

(6) 連合会青年委員会でも空き家問題への取組みを検討中

※詳細は別紙による（C分科会でも参考にしてほしい）

(7) 「北海道建築士」の原稿について

9/30 寄稿（永井）

(8) 次期青年委員会組織、来期事業計画について（集い、青年サミット）

次期青年委員会組織（案）がおおよそ確定した。また、来期事業計画については、集いと青年サミットの在り方について協議が行われた。

**【意見】**

- ・集いと青年サミットの内容が似ている
- ・集いや青年サミットを担当するサイクルが早くなり、支部青年の負担が大きい
- ・集いは活動発表会形式にしてはどうか（来年は、建築のお仕事体験についての各ブロック報告会）
- ・青年サミットは土曜日開催とする
- ・青年サミットをセミナー程度の内容とし、金曜夜の開催とする

※すぐに解決できないので、今後も検討を続ける

(9) 次回WEB会議について

11/7のWEB会議に、本部総務委員会も札幌にて開催するので、札幌にてWEB会議に参加できる方は、その夜、総務委員会との親睦会に極力参加いただきたい。上記、青年サミットの問題なども協議する予定。